

資料館でひな祭り 3月1日 4月4日

とよとみ

養蚕だより 10

編集・発行
中央市
豊富郷土資料館

資料館にひな祭りをかざりま
した。三月一日
から四月四日ま
で、企画展示室
で、みなさまをお
待ちしています。
昭和以前のおひ
なさまで、中
も横沢びなは甲
州独自のあひな
さまです。明治
と大正時代
の横沢町の雛問
屋の流れとくむ

松本米兵衛の店でつ
くられた横沢びなは、
質素でしたが庶民で
も買える値段だっ
たので、広く親しま
れました。
資料館では他にも
御殿かざりや吊し
な等、様々なひな
形を展示していま
す。毎年恒例のひな
展にぜひいらして
ください。会期中は
曜日と三月二十二
日、休館、企画展の
見学は無料です。

おが(一)とんこの後 ⑤真綿

収穫した繭は必ず
しも全てが生糸にな
れるとは限りません。
繭の中には、作る途
中で蚕が死んでしま
ったものや、蛹の時
に死んで汚れている
もの、二頭の蚕が一
緒に繭になったもの
など、規格外の繭が
あります。きれいな
生糸をとるためには、



規格外の繭を取りの
ぞく必要がありません。
取りのぞいた繭は
生糸になれませんが
捨てることはほぼあ
りません。それらは
「真綿」という絹製
品をつくるのに使わ
れます。真綿は、軽
くてあたたかい布団
になったり、「紬」
という織物の材料に
なったり、幅広く使
われます。

